

平成 30 年 3 月 16 日

(報告 1)

平成 29 年度計画推進事業の実施状況について

(企画部市民協働課)

1 計画推進事業の実施内容

地域公共交通調査事業（計画推進事業）の内容	
実施項目	実施内容
① O D 調査の実施	地域公共交通網形成計画（H28 年度策定）に定める目標の達成状況及び個別路線の運行評価を実施するために必要となる指標の把握をし、市内を運行するバス路線の利用者数及びバス停留所間利用実態（バス停留所 O D）調査を平成 29 年 9 月に実施し、評価改善委員会に報告している。
② 公共交通マップの企画・作成	J R 線、天竜浜名湖線、遠鉄バス、コミュニティバスの市内公共交通全体を集約した公共交通マップをベースに、利用者の利便性向上に資する時刻表、乗継情報、主要集客施設など、見やすく、分かりやすい総合的な公共交通マップを作成し、市内全世帯及び公共施設等に平成 30 年 3 月 15 日に全戸配布した。
③ バス利用者啓発ポスター・チラシの企画・作成	企画乗車券（片道定期券）の利用を周知・P R する利用啓発資料として、ポスター・チラシを作成し、市内の公共施設及びバスの車内、主要集客施設等で掲示、配布した。（平成 30 年 2 月から）
④ 企画乗車券の企画・作成	公共交通の利用促進を目的として、コーちゃんバスを上手に利用する会会員の意見から、コーちゃんバスの現状ダイヤにあった“片道定期券”を平成 30 年 2 月から新たに発行した。
⑤ 動機付け資料の企画・作成	バス利用促進に資する意識啓発資料として、「かしこい自動車の使い方」の冊子を企画・作成し、モビリティ・マネジメントの実施において活用した。（平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月）
⑥ モビリティ・マネジメントの企画・実施	バス利用促進に資する意識啓発取り組みとして、市内居住者（入出地区住民 500 人）を対象に、動機付け資料とともに、交通行動変容を促すコミュニケーションアンケートを企画・配布し、交通行動の変容状況を把握する簡易 T F P を実施した。（平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月）
⑦ 地域公共交通会議の開催	上記に記載した事業評価に係る調査及び利用促進に係る各種調査、意識啓発資料などの作成など、実施に当たった調整とともに、各調査結果の協議を行うための会議を開催した。

平成 29 年度実施状況報告

①OD調査の実施

OD調査、バス利用者アンケート

- ・バス利用の実態を明らかにするため、市内の各路線に調査員が乗り込み、乗車から降車までの実態について調査(OD調査)を実施した。

バス利用者アンケート：9月6日(水)～9月7日(木)実施

OD調査：9月6日(水)実施

アンケート結果は、湖西市バス運行評価改善委員会で公表し、事業評価に利用した。

②公共交通マップの企画、作成



利用者が持ち運びしやすい折り畳み式の総合マップ時刻表を作成。

マップ内のバス停位置の表記の改善や、バス停名のローマ字表記を実施するなど、従来のものからよりわかりやすい内容になるよう改善した。

また、遠州鉄道、天浜線、JRの時刻を記載し、乗り継ぎをわかりやすくまとめた。平成30年3月15日(木)の全戸配布で市内の各家庭に配布した。

③バス利用啓発ポスター、チラシの企画作成 ④企画乗車券の企画、作成



平成30年2月1日(木)から、コーちゃんバスの新しい運賃制度として企画乗車券(片道定期券)を導入し、啓発ポスターやチラシを作成し、公共施設に配架した。平成30年3月現在では、申込み1件、問い合わせ3件あり、利用啓発を継続して行う。

⑤動機付け資料の企画・作成 ⑥モビリティマネジメントの実施

自主運行バス浜名線は、平成30年4月2日よりコーちゃんバスとして新たな運行をスタートする。この新たな運行に向け、沿線住民にバスや鉄道などの公共交通に親んでもらうとともに、安心・快適に利用してもらうため、バスに関する各種資料（湖西市バスマップ、クルマの使い方について考えてみませんか？、お出かけプラン例）を配布し、自主運行バス浜名線沿線に居住する住民を対象に、バスに関する各種資料の効果や、公共交通利用の変化の有無などの把握をするアンケートを実施した。



(結果の一部抜粋)

利用の変化

- 74歳以下の方は、今後は利用してみたい方が最も多い。
- 75歳以上の方の中には、新たに利用するようになった方が確認できる。
- 公共交通を利用する方に関しては、以前より増えた人や新たに利用するようになった人が30%程を占めており、利用が増加したことがわかる。
- 公共交通を利用していない方に関しては、利用は増加していないが、今後利用してみたいと回答する方が半数おり、利用に対して期待が伺える。
- 高頻度の自動車利用者に関しては、利用は増えてはいないが、今後利用してみたい人が半数以上を占めており、公共交通への期待が伺える。
- 低頻度の自動車利用者に関しては、新たに利用するようになった人がおり、その効果が確認できる。
- 自動車を利用しない方に関しては、以前より利用が増加した人がおり、その効果が確認できる。
- 利用が増加した方に関しては、ほぼ毎日利用する方もいて、利用頻度が増加していることがわかる。
- 新規に利用された方は、週に1~3回程度に利用頻度がかわっていることがわかる。

新規利用や、利用が増加した方に関しては、通院・検診の他に、通学や買い物、通勤を目的とした利用が多いのが特徴としてあげられる。このことから、今後乗り換え目的のほとんどを占めるJRへの乗継利用を考慮して、JRとの乗り継ぎ、買い物等の利用啓発に留意していく必要がある。

⑦地域公共交通会議の開催

平成 29 年度は 4 回開催し、第 2 回以降の会議において、下部組織である湖西市バス運行評価改善委員会で湖西市地域公共交通網形成計画や平成 29 年度計画推進事業の進捗状況についての評価を行い、公共交通会議に報告している。バス運行評価改善委員会から提言された、公共交通に関する評価の設定などについて公共交通会議で協議を行っている。